



広報

# いながわ

平成12年(2000年)2月15日第572号

町花  
つつじ



町木  
松



昭和46年4月1日制定

編集・発行 猪名川町役場町長公室広報広聴係

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 0727 (66) 8707 ファックス番号 0727 (67) 2255  
ホームページアドレス (URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス [koho@town.inagawa.hyogo.jp](mailto:koho@town.inagawa.hyogo.jp)

毎月1日・15日発行



▲保健センターはあなたの健康づくりのお手伝いをします

## 検診や相談を活用しましょう!

## 生活習慣病の予防を!

かつて、中高年に多く発症するため成人病と呼ばれていた高血圧や糖尿病、心臓疾患は、現在では「生活習慣病」と呼ばれています。これは年齢にかかわらず、生活習慣によっても、誰もがかかる病気であることが知られるようになったからです。普段の生活を見直し、「生活習慣病」を予防しましょう。

### 健康診査では

#### 九割の人が

平成十一年度に町ぐるみ健診を受診した二千五百八十二人のうち、生活上ならぬかの注意が必要で「要指導」の人が五五・五割、医療機関に相談する必要がある「要医療」の人が三九・六割にものぼり、異常なしと判定された人は、わずか四・九割に過ぎませんでした。つまり九割以上の人が、医師への相談や生活上での注意が必要ということになるのです。また「異常なし」の人の割合も、四十歳を超えると年齢を増すごとに少なくな

っています。

#### 誰もが予備軍です

がん・心臓病・脳血管疾患・高血圧・糖尿病・高脂血症といった「生活習慣病」は、毎日の生活の中で、悪い習慣が積み重なると発症するといわれています。このため、年齢とともに病気になる割合も高くなり、また悪い生活習慣が多い人ほど病気になる時期も早まります。

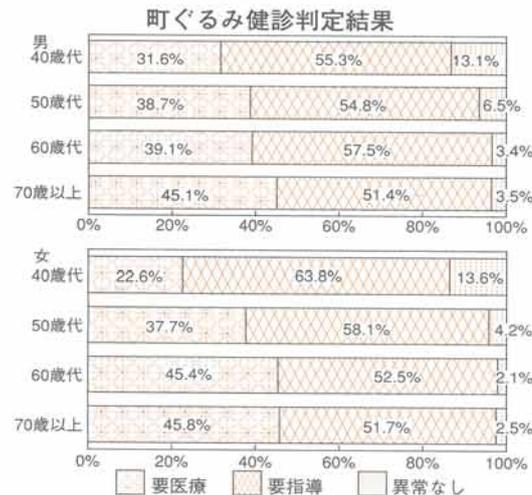
### 生活習慣病を予防するために

生活習慣病は、毎日の食生活が大きな影響を及ぼします。私はいつも、「うす味の食生活に慣れましょう」と呼びかけています。それは、うす味にすることで、心臓病・高血圧・動脈硬化・胃がんなどの生活習慣病を予防することができるからです。

また、自分の健康状態を知るためには定期検診が重要です。検診結果で異常があった場合、医師に相談するのはもちろんのこと、生活習慣の改善に努めて、翌年の検診では改善されているようにしましょう。異常のなかった人も、現在の健康を維持できるよう取り組みましょう。

誰もが元気な時には、健康についてあまり考えないと思いますが、病気になるまで気が付いたのでは遅すぎます。今一度ご自身の生活を振り返り、悪いと思える生活習慣を改善して、健康に過ごしていただきたいと思っています。

保健センター所長 山根由貴子



生活習慣の見直し  
「した方がいいのはわかってい

早期発見、予防のために検診や相談を

また、子どもの時から、良い生活習慣を身につけることが大切です。

## ミニ消防車の愛称募集!

消防本部では火災予防に役立てようと、ミニ消防車とジャンボ消火器を製作しました。

ミニ消防車はゴルフのカートをベースに、消火器はドラム缶を利用して、いずれも職員が手作りで完成させたものです。そこで、このミニ消防車にふさわしい愛称を募集します。はがき又はファックスで、愛称と住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、お送りください。

採用された方には、図書券を進呈します。  
▷締切 2月25日(消印有効)  
▷送付先 猪名川町消防本部「ミニ消防車の愛称募集係」  
(〒666-0233猪名川町紫合字古津側山4-10 FAX66-1216)  
問い合わせは、消防本部(☎66-0119)へ。



名前つけてネ

▲ミニ消防車はイベントなどで活躍します

生活習慣の改善をはかるには健康相談をご利用ください。



しは、「健康づくり年周予定表」や広報の保健たよりで確認ください。

問い合わせは、保健センター(☎66-1000)へ。

### 町で実施している検診

検診名	検診内容	対象	検診方法
町ぐるみ健康診査	基本健診・結核検診・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検査	40歳以上 (前立腺がん検診は60歳以上の男性)	集団
総合検診	基本健診・肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・歯科検診	40歳以上	集団
町ぐるみ健康診査(個別検診)	基本健診	40歳以上	個別
胃がん検診	X線胃部間接撮影	40歳以上	集団
子宮頸がん検診	細胞診	30歳以上の女性	集団・個別
乳がん検診	触診	30歳以上の女性	集団・個別
骨粗しょう症検診	骨密度測定	30歳以上の女性	集団・個別
腹部超音波検診	超音波診断	40歳以上	集団
大腸がん検診	便潜血反応	30歳以上	集団
肺がん検診	胸部X線撮影	30歳以上	集団・個別

※基本健診=生活習慣病に関する基本的な事項を検査します(身体計測、問診、検尿、血圧測定、血液検査、心電図、眼底検査)  
※集団=保健センターなど町内の施設で検診を実施します  
※個別=指定の医療機関で受診できます



# いながわ特派員 きり 報告



とびきり  
特派員  
上田 美佐子



特派員  
小林 悦子

私達が便利で快適な生活を求めつづけた結果、「ごみ」は増大の一途をたどってきました。

近年、その処理に費やされる費用や労力、地球環境への負荷が問題にされています。適正で安全な処理による地球温暖化防止や有害物質発生抑制、海洋汚染防止など地球規模での環境保全への取り組みが強く求められています。

猪名川町においても、ごみの減量化と限りある資源の活用を目指し、昨年十月からごみの分別収集が開始されました。ビン(色別)、ペットボトル、紙パックなどの分別収集が始まって早くも五ヶ月経ちましたが、「色分けに手がかる」、「収集用のコンテナが重くて大変」、「洗って出すなんて手間」、「環境のためには必要だ」といろいろな声を耳にします。

今月はごみ減量化の、家庭での取り組みやグループ活動の一例を紹介いたします。

## 生ごみ処理機を利用

みなさん、毎日の生ごみの処理はどのようにされていますか？

町では、ごみ減量化推進のため、家庭の生ごみを堆肥化する生ごみ処理機の購入に対して助成を行っています。そこで、生ごみ処理機を使ってごみ減量化に取り組んでいる奥西さんとその成果を伺ってみました。

奥西さんのお宅は、七人家族で毎日の生ごみも、多いときはバケツ一杯になるそうです。処理機は、



▶三角コーナーの生ごみを処理機に投入し、運転

### ▲処理後の生ごみ



▶処理後の生ごみを一旦ポリバケツに集めておきます



▲最終的に堆肥として再利用します

対象	町在住で、ごみ処理機を購入し、生ごみ処理機を利用しているご家庭
助成金額	4万円(消費税5%除く)を上限とし、購入価格の5割(最低1万円)を助成
申し込み	申し込みは、住民課(☎66-8700)

屋内にも置けますが、夜中に運転するせいか音が気になり、屋外の屋根の下に処理機を置いてあります。

三角コーナー一杯分の生ごみをしっかり水きりして、処理機にかけていただいたところ、二時間半くらいで乾燥し、量は約四分の一になりました。においはほとんどありませんでしたが、夏場は少しにおいがあるそうです。

毎食後の残飯・残菜をその都度処理するより、一日分をまとめて

## リサイクルしてめんどう?

### アルミカンのリサイクル

処理するほうが時間的、経済的にも効率的なようです。

使い出した二ヶ月ですが、燃えるごみの目に出すごみが、かなり少なくなり、また、できごみ乾燥ごみは、庭や畑に穴を掘って埋めれば堆肥になります。春に新しい花を咲かせてくれるか、楽しみです。

知的なハンディがある人達が、地域で共に暮らし、人としてあたりまえの生活をしていくためのバックアップをしている親たちの会、「手をつなぐ親の会」では、省資源化と、将来、障害者の作業所を建設するときの資金の一部にと、アルミカンのリサイクルに取り組んでいます。

子供達やお母さん達が集めて来たアルミカンは、社会福祉会館の裏に設置されているカゴに集めていきます。いっしょになると、アルミカンをつぶして業者に持って行くそうです。町からの助成金を含めても、年間二万円程の収益に

対象	町内の子ども会などの地域団体で、集団回収を定期的に実施する団体
再生資源	古紙類(新聞・雑誌・段ボール等)、布類、アルミカン
奨励金額	引き取り料とは別に、再生資源1kgにつき5円(くわしくは、クリーンセンター ☎68-0818)へ。

再生資源集回収奨励金

再生資源集回収奨励金

再生資源集回収奨励金

hand in hand with INAGAWA Parental Association

今回のテーマは「再利用」

再利用用信じて貰えぬ出来映えに

田中キク子 白金

姉からのおさがり着れぬ育ちすぎ

ぼたんちゃん(上野)

財布空ら野菜の屑で胸ふさ

岡村和子(つじが丘)

来月のテーマは「外あそび」です。

応募方法は、二月二十六日までにハガキで町長公室広報課へ。

かなりませんが、この活動を通して、子供達に資源の大切さを感じてもらったり、このよな小さな取り組みでも積み重ねることが、貴重な資源をむだにしないために大切であると考えて、続けているそうです。

手をつなぐ親の会では、アルミカンの収集への協力をお願いしています。私たちは、毎日のようにカン入りのジュースやビールなどを消費しています。カンの原料である鉄とアルミニウムは、日本では、ほとんどとれない資源です。カンをリサイクルせずに捨ててしまつては、わざわざ大量のごみを輸入していることになりかねません。

協力的いただける方は、できるだけカンを水でゆすぎ、また、つぶして社会福祉会館の裏に設置されたカゴまでご持参下さい。

おもしろ川柳

「いながわ特派員」

社会福祉会館で作業をする手を つなぐ親の会のメンバー

編集後記

私達の生活は、水や空気、食糧をはじめとしてすべてが自然のサイクルの恩恵を受けています。現在の生活は、大変便利になった反面、自然の流れに逆らっていることがたくさんあります。その結果、地球温暖化やオゾン層の破壊、環境ホルモンなどの重要な問題に直面しています。豊かき、便利さ引きかえに取りかえしのつかないところまで来ているのかもしれない。

おもしろ川柳

「いながわ特派員」

本格的に分別収集を開始

十月以降、分別収集をスタートさせたクリーンセンターの古東所長に、お話を伺いました。

ビンを色別に分別収集することで、リサイクルしやすくなったそうです。取材中にも収集車が何台も帰ってきて、ビンのストックヤードに荷おろししていました。

また、ペットボトルは圧縮されて、約二十％の大きさになりました。これを業者が引き取ってもらい、衣類やプラスチック製品にリサイクルされます。一・五リットルのペットボトル五本でスポンが一本、七本で上衣

色別のストックヤードにクレーンを使っておろします。透明、白濁色は酒ビンが、茶色はドリンク剤のビンが、その他のビンは洋酒ビンが多い様です

集まってくるごみの量はとも多く、仕分け作業は大変な努力と費用がかかっています。私たちが気をつけて分別すれば、クリーンセンターでの多大な努力と費用などを減らす事ができます。

町職員の制服は、ペットボトルからリサイクルされたものです。また、この広報紙も再生紙100%の紙を使用しています。